

## 家賃改定特別措置の令和6年度更新申請手続きはお済みですか？ ～令和5年度に特別措置の適用を受けている方が対象です～

UR都市機構では、家賃改定に伴い家賃が引上げとなった住宅にお住まいの方のうち、一定の要件に該当する高齢者世帯等の方々を対象として、居住の安定を図るため、家賃の上昇を抑制する特別措置を講じています。

この特別措置の適用を受けていただくためには、毎年度、受付期間内に更新申請をしていただく必要があります。

令和5年度に特別措置の適用を受けている方には、令和6年度の更新申請についての案内と更新申請書を送付し、現在、申請を受け付けておりますので、まだお済みでない方はお早めにお手続きいただきますよう、ご案内いたします。

特別措置の適用を受けている生活保護世帯の方につきましては、令和6年度の生活保護に係る住宅扶助限度額の確認が取れ次第、UR都市機構から案内と申請書を送付させていただきます(令和6年3月中旬ごろ)ので、もうしばらくお待ちください。

家賃改定特別措置の令和6年度更新申請手続きについて <small>※この措置は建替事業に伴う特別措置とは異なりますので、ご注意ください。</small>		
対象者	令和5年度に特別措置の適用を受けている方 <small>※特別措置の適用を受けていない方は更新申請の対象とはなりません。</small>	
受付期間	高齢者・母子・障がい者・子育て世帯の方 令和6年2月29日(木)まで	生活保護世帯の方 令和6年3月29日(金)まで
受付場所	お住まいの団地を管理している管理サービス事務所又は住まいセンター等	
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家賃改定に伴う特別措置適用申請書」(対象者の方に郵送したもの)</li> <li>・必要書類(住民票、住民税課税証明書等)</li> </ul> <small>※詳細はお手元の案内をご覧ください。</small>	
お問合せ先	お住まいの団地を管理している住まいセンター等	

## 障がい者等駐車場利用料金減額措置のご案内

UR都市機構では、駐車場のご契約者様又はご契約者様と同居されている親族の方が、次の【対象となる障がい等の程度】の①～⑤のいずれかに該当し、世帯の中で所得のある方全員の合計の所得月額<sup>(※)</sup>が機構の定める所得以下である場合、駐車場利用料金(消費税課税前)を10%減額する措置を講じています。

当該措置の適用を受けていただくためには、申請手続きが必要となります。詳しくは、お住まいの団地を管理している住まいセンター等にお問い合わせください。(なお、継続して措置を受けていただくためには、毎年度、更新期間内に更新申請をしていただく必要があります)

※所得月額とは、年間収入を一定の方式で所得に換算し、更に控除額を差し引いた金額を12で割った金額のことで、控除額は世帯ごとの収入の種類・世帯構成によって変わります。

### 【対象となる障がい等の程度】

- ①身体障害者手帳の交付を受けており、障害の程度が1級から4級の方
- ②精神障害者保健福祉手帳の交付を受けており、障害の程度が1級もしくは2級の方又は相当の経験がある医師等から障害の程度が1級もしくは2級に相当すると判定されている方で、常時介護が必要な方
- ③療育手帳の交付を受けており、障害の程度が重度である方で常時介護が必要な方
- ④児童相談所、知的障害者更生相談所又は精神科医等から②の障害に相当すると判定されている方で常時介護が必要な方
- ⑤要介護認定を受けており、要介護度が1から5である方

なお、令和5年度に措置を受けている方には、令和6年度の更新申請に係るご案内書類をお送りしております。お手続きがまだお済みでない方は、令和6年2月29日(木)までに、お早めにお手続きください。

## 換気・通気について

近年の住宅は冷暖房効率の向上等を図るために、昔と比べて高气密化しております。しかし、その反面、結露、カビ、ダニ、揮発性有機化合物といった問題も発生し、換気的重要性、必要性が高まっています。

### 換気についての一般のご注意

- ・窓やサッシの小窓等をこまめに開閉したり、窓を閉めきっている場合は、換気扇を時々運転したりして、室内の風通しを良くしましょう。
- ・押入や天袋に物を収納する際には、すのこを敷くなどして、床や壁の間に10cm程度の空間を確保することやふすまを常時少し開けておく(3cm程度)ことが必要です。
- ・家具、ステレオ、ピアノ等はできるだけ壁から離して裏側にも通気するようにしてください。
- ・換気をより徹底して行う場合は、室内外の空気を十分に入れ換えるために、窓のサッシだけではなく、室内の木製扉も開放して連続30～60分の換気を1日2、3回行うようにしてください。  
また、室内(トイレ、洗面所、浴室等)の換気扇はできるだけ長時間作動させると効果的となります。一部の住宅では常時小风量換気システムを採用しており、常時換気扇を作動させることによって効果的に換気を行うことができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
- ・開けた窓の近くで同時に換気扇を回すと、空気が局所的に循環して、部屋全体の十分な換気が行われない場合がありますので、ご注意ください。



### ⚠ 注意

強風の日に、(特に高層の住宅において)窓やバルコニーに面したガラス戸等を開放しておきますと、室内に強い風が吹き込むことがあります。強い風が吹き抜けることで、室内の扉が激しく開閉され、場合によっては扉が破損するなど、危険を伴う事故につながる場合があります。換気・通風の際には十分ご注意ください。